学校番号	3030

令和８年度　理数科

教科	理数	科目	理数化学	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　化学　（第一学習社）						
副教材等	セミナー化学基礎　（第一学習者出版）、セミナー化学（第一学習者出版）、化学重要問題集―化学基礎・化学（数研出版）、サイエンスビュー新化学資料（実教出版）、新課程 大学入学共通テスト対策 チェック＆演習 化学（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「化学」という学問は私たちの身の回りにあふれています。身の回りの触れるものすべてが化学物質といえます。また、私たちの日々の暮らしを豊かにするために、日々さまざまな研究が行われており、皆さんもその研究の成果の恩恵を受けています。特に３年生で学習する有機化学や高分子化合物は薬品や食品と非常に関わりのある分野です。化学を学習することは私たちの身の回りのことを学習するといっても過言ではないでしょう。

2　学習の到達目標

・無機物質の性質や反応を探究し、元素の性質が周期表に基づいて整理できることが理解できるとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。
・有機化合物の性質や反応を探究し、有機化合物の分類と特徴が理解できるとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。
・高分子化合物の性質や反応を探究し、合成高分子化合物と天然高分子化合物の特徴が理解できるとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	①自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ②学んだ内容が関連付けて整理され定着している。 ③観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理できている。 ④操作の意味をよく理解し、実技のレベルが的確である。	①自然の事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 ②授業内容について科学的な捉え方ができている。 ③発展的な内容についても思考を展開させることができている。	①自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	非金属元素の単体と化合物	周期表と元素の性質 非金属元素 酸素・硫黄とその化合物 窒素・リンとその化合物 炭素・ケイ素とその化合物	a: 非金属元素に関する反応や性質を理解し、知識を整理された形で身につけている。 b: 各族ごとの性質や反応を理解し、説明できる。 c: 非金属元素の反応や性質、身の回りでの応用に興味・関心を持つ。	課題 考査	課題 考査	課題 観察
	典型金属元素の単体と化合物・遷移元素の単体と化合物	アルカリ金属とその化合物 2 族元素とその化合物 1、2 族以外の典型金属元素とその化合物 遷移元素とその化合物 金属イオンの分離・確認	a: 金属元素に関する反応や性質を理解し、知識を整理された形で身につけている。 b: 金属ごとの性質や反応を理解し、説明できる。 c: 金属元素の反応や性質、身の回りでの応用に興味・関心を持つ。	課題 考査	課題 考査	課題 観察
	有機化合物	有機化合物の特長と構造 炭化水素 酸素を含む有機化合物 芳香族化合物 有機化合物と人間生活	a: 有機化合物の性質や反応を理解し、知識を整理された形で身につけている。 b:それぞれの性質や反応から、有機化合物の構造を判断し構造式を記すことが出来る。 c: 日常生活と密接に関わる有機化合物に関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。	課題 考査	課題 考査	課題 観察

後期	高分子化合物	高分子化合物 天然高分子化合物 合成高分子化合物 高分子化合物と人間生活	a: 高分子化合物の性質や反応を理解し、知識として身につけている。 b: 高分子化合物の成り立ちを理解し、単量体からどのような重合体が生成するか判断し、構造を書き表わすことができる。 c: 身の回りや生命に関わる化学に興味・関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。	課題 考査	課題 考査	課題 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度